

おおさかマーチス月間統計誌
(統計処理装置のデータによる分析)

令和元年06月

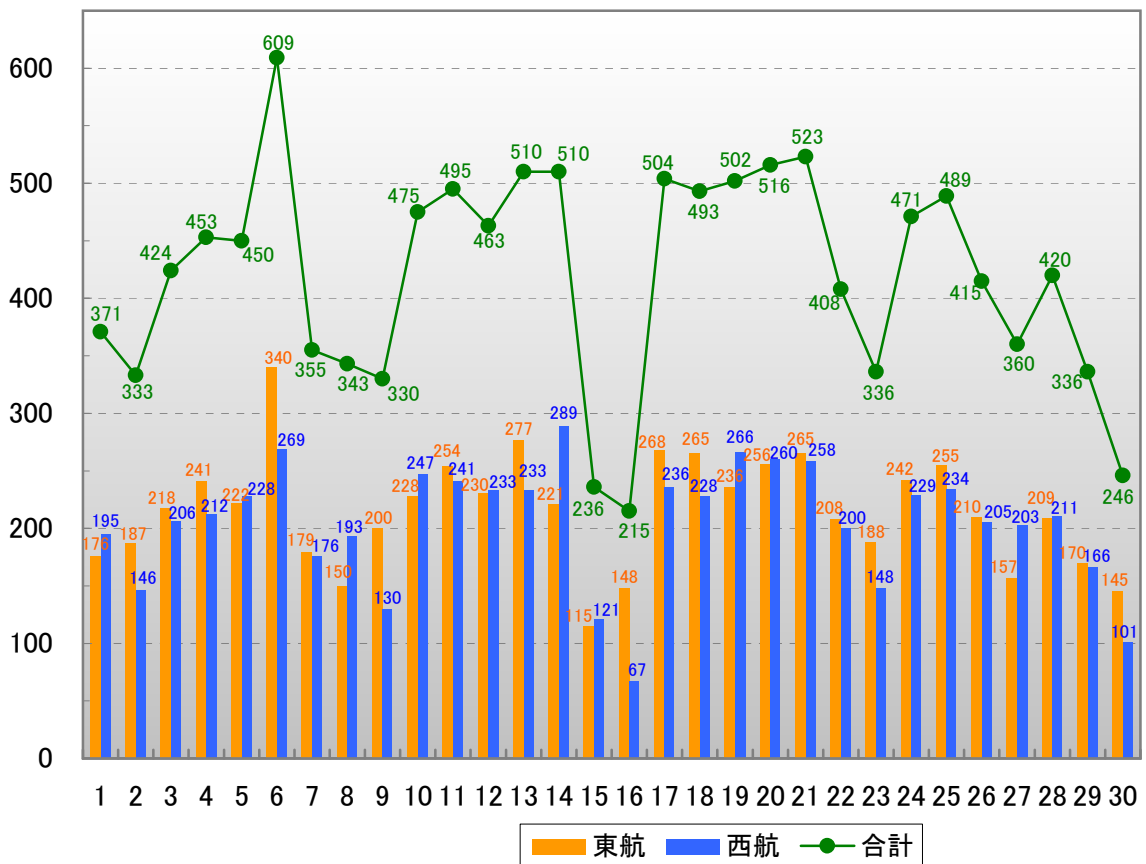
大阪湾海上交通センター情報課

目 次

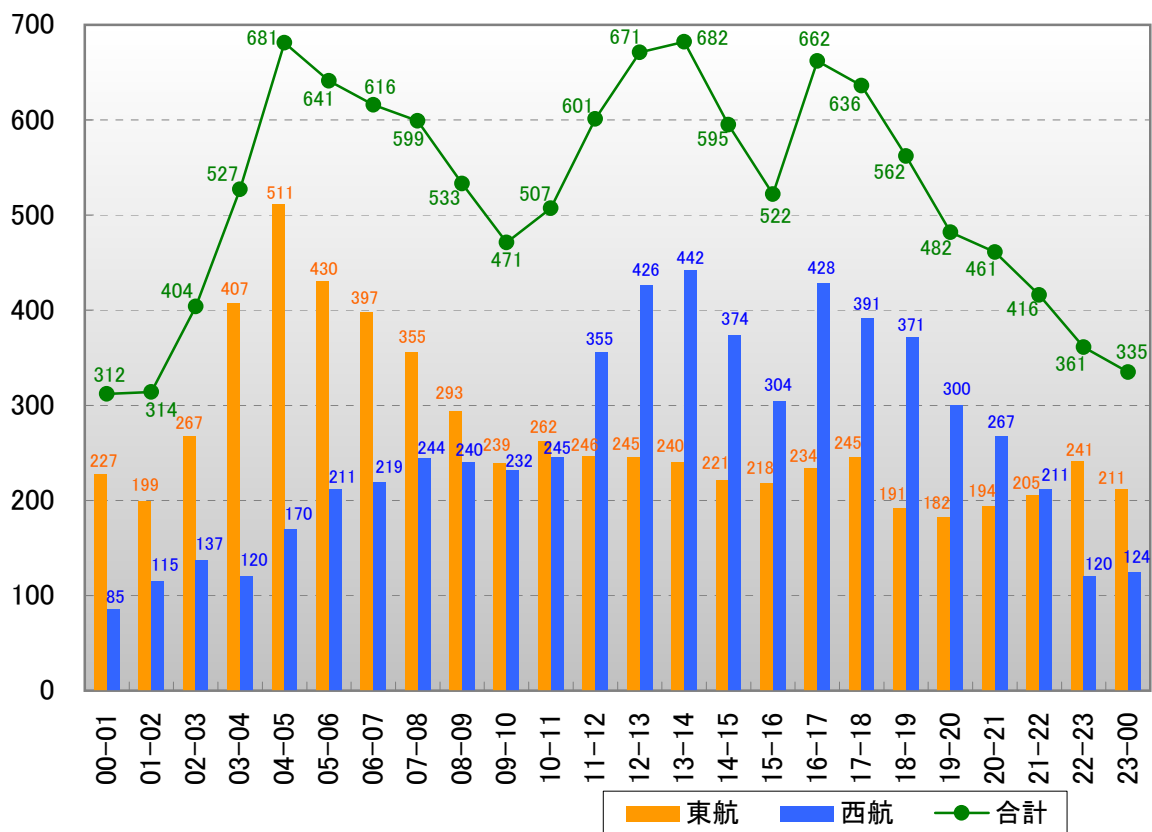
1. 明石海峡における航行船舶の実態	1
1-① 日別航行隻数	
1-② 時間帯別航行隻数	
2. 明石海峡航路内の混雑状況	3
2-① 計測1回当たりの日別平均在隻数	
2-② 計測1回当たりの時間帯別平均在隻数	
3. 航路通報対象船舶の通航状況	5
3-① 日別航路通航隻数	
3-② 時間帯別航路通航隻数	
3-③ トン数別航路通航隻数	
3-④ 国籍別船種別航路通航隻数	
4. 江崎船舶通航信号所における気象状況	11
4-① 風向別頻度	
4-② 風向別平均風速	

1. 明石海峡における航行船舶の実態

明石海峡を航行し、計測線(明石海峡航路中央第三号灯浮標を通過して神戸市垂水区塩屋から淡路島鵜崎まで航路に垂直に引いた線)を速力およそ3ノット以上で横切った船舶(江崎船舶通航信号所のレーダー映像からコンピュータ処理された船舶で、長さがおよそ20m以上の船舶)を日別及び時間帯別に集計した隻数を示す。



グラフ1-① 日別航行隻数



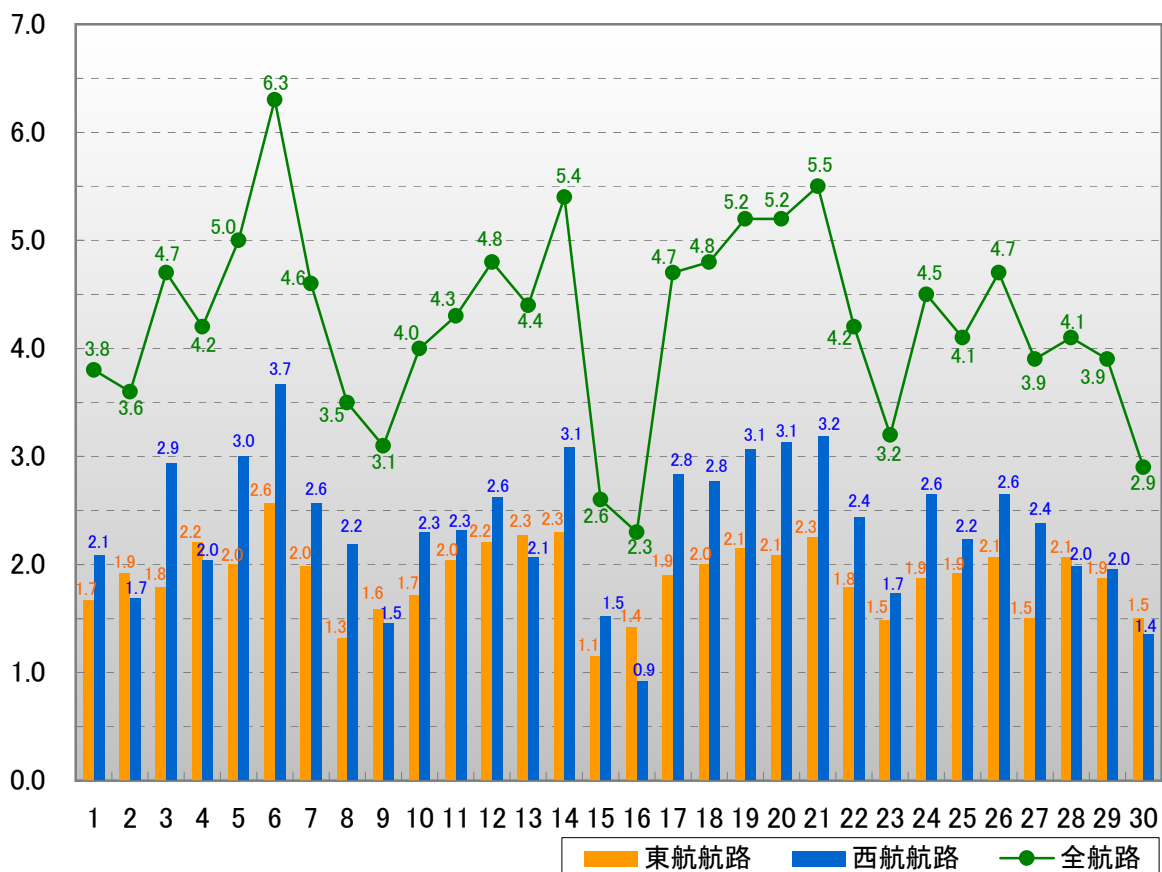
グラフ1-② 時間帯別航行隻数

2. 明石海峡航路内の混雑状況

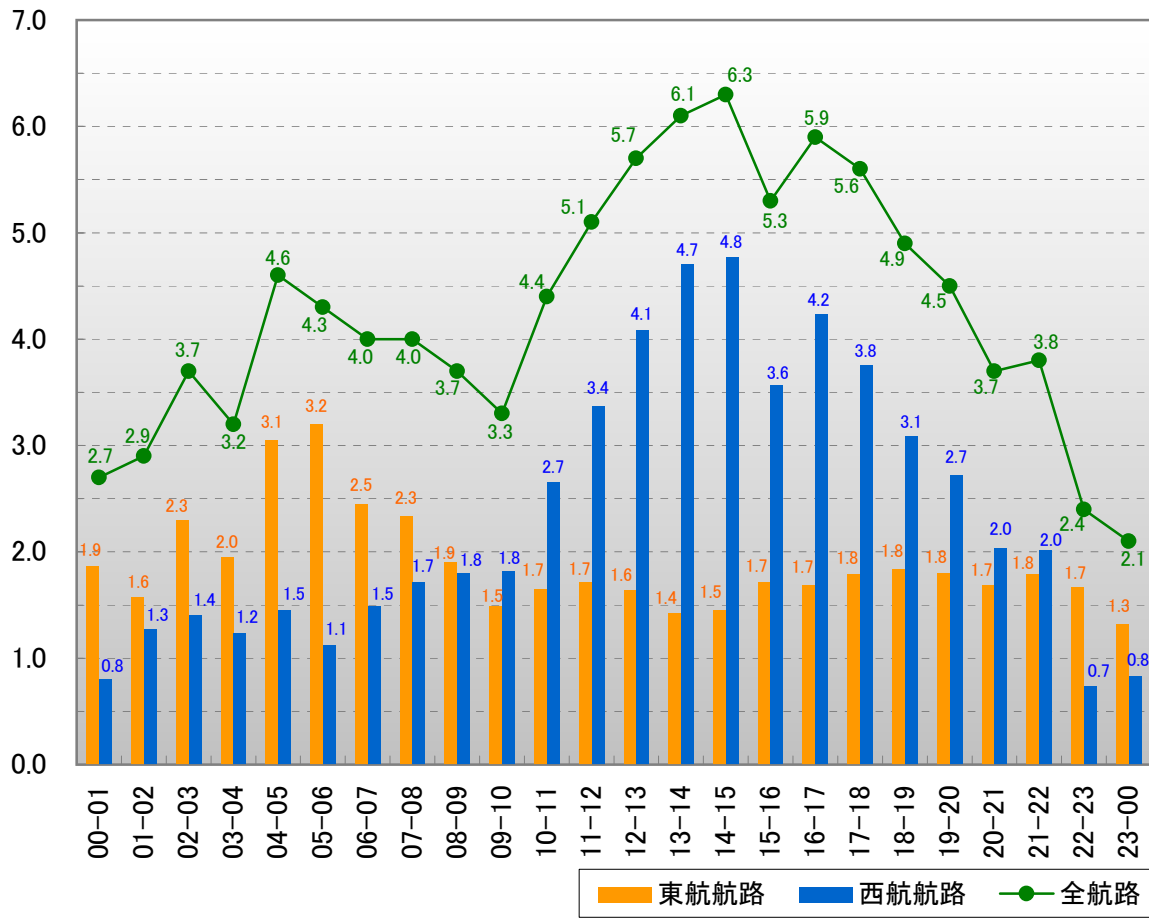
速力およそ3ノット以上で航行中の船舶が、毎時00分及び30分の時点で航路内に存在する隻数を基本データとして以下のとおり分析することにより、航路内の混雑状況を示す。

(1) 基本データを日別に集計し、それぞれ計測回数(24時間×2回)で割ることによって航路内の平均在隻数を示す。

(2) 基本データを時間帯別に集計し、それぞれ計測回数(日数×2回)で割ることによって時間帯別の平均在隻数を示す。



グラフ2-① 計測1回当たりの日別平均在隻数



グラフ2-② 計測1回当たりの時間帯別平均在隻数

3. 航路通報対象船舶の通航状況

海上交通安全法第22条の規程に基づいて大阪湾海上交通センターに航路通報を行った船舶のほか、それ以外の任意で航路通報を行った船舶を日別、時間帯別、トン数別及び国籍別に集計したものを示す。
なお、船種分類の定義については以下のとおりとする。

●巨大船：長さ200m以上の船舶

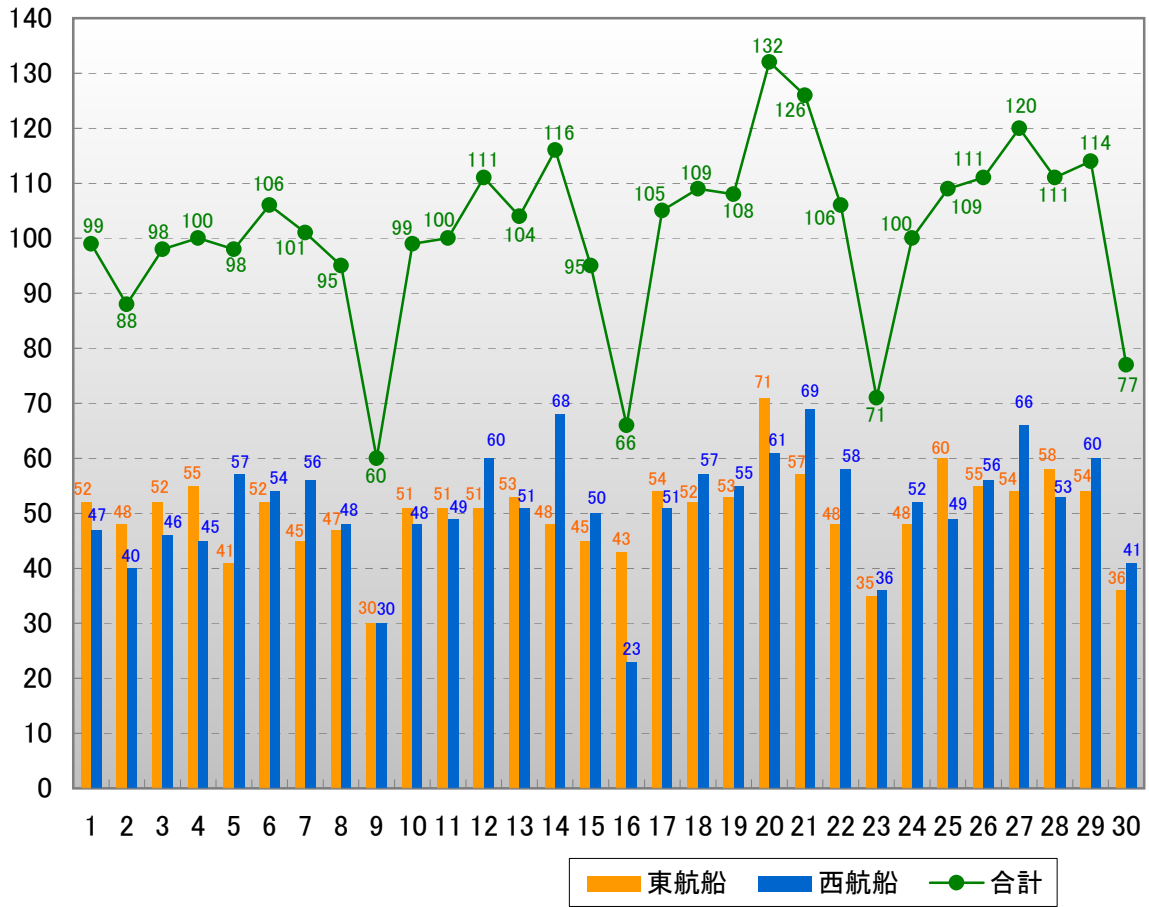
●危険物船：引火性液体類又は液化ガスをばら積みした総トン数1,000トン以上の船舶及び80トン以上の火薬類又は200トン以上の有機過酸化物を積載した総トン数300トン以上の船舶

●長大物件えい(押)航船：船舶、いかだその他の物件を引き、又は押し航行する船舶で、当該引き船の船首から当該物件の後端まで又は当該押し船の船尾から当該物件の先端までの距離が200m以上のもの

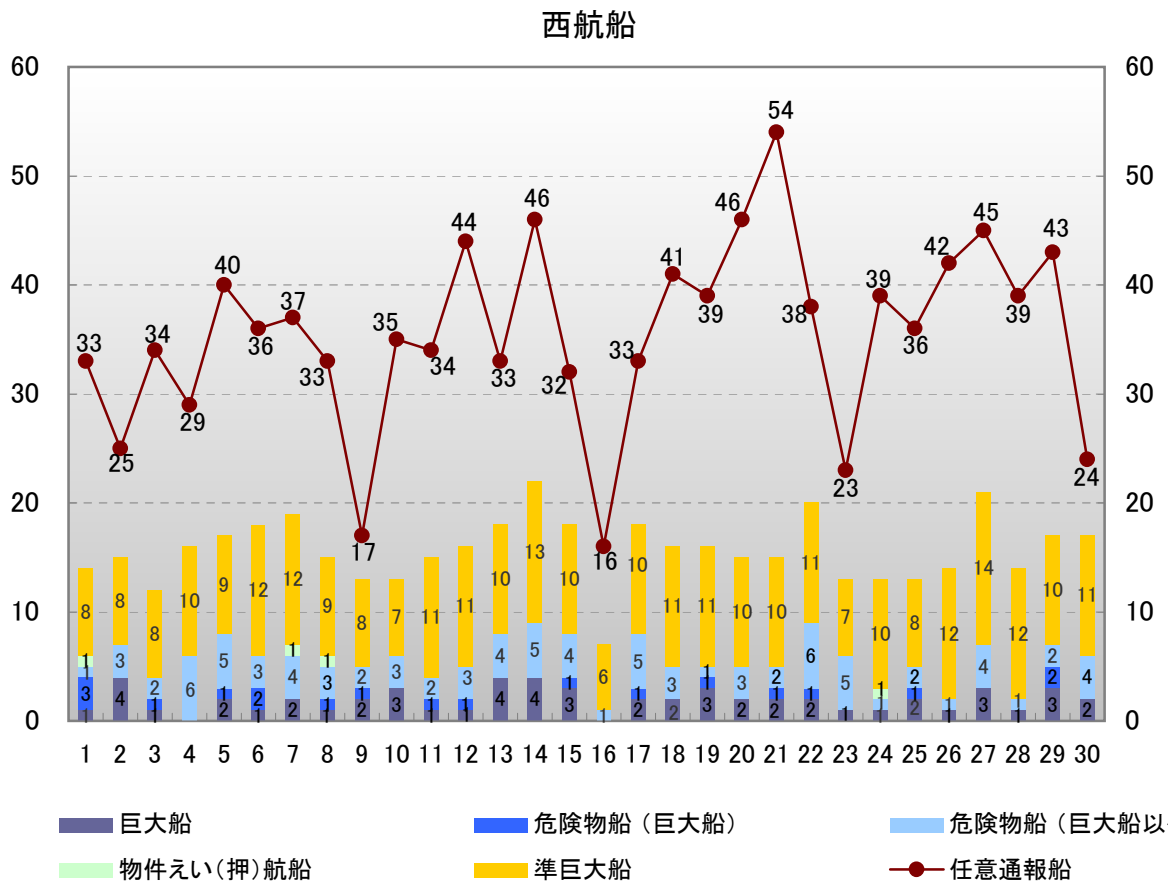
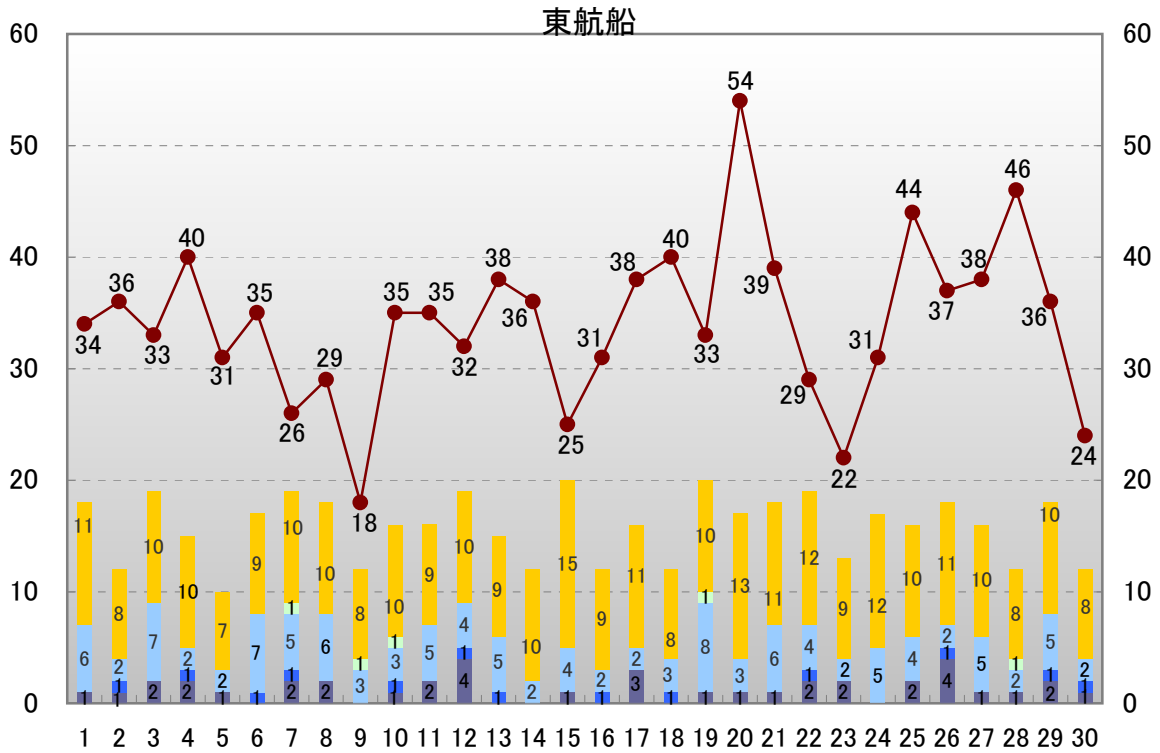
●物件えい(押)航船：船舶、いかだその他の物件を引き、又は押し航行する船舶で、当該引き船の船首から当該物件の後端まで又は当該押し船の船尾から当該物件の先端までの距離が160m以上200m未満のもの

●準巨大船：巨大船、危険物船、長大物件えい(押)航船及び物件えい(押)航船以外の船舶であって長さ160m以上の船舶

●任意通報船：長さが160m未満の船舶(危険物船を除く)

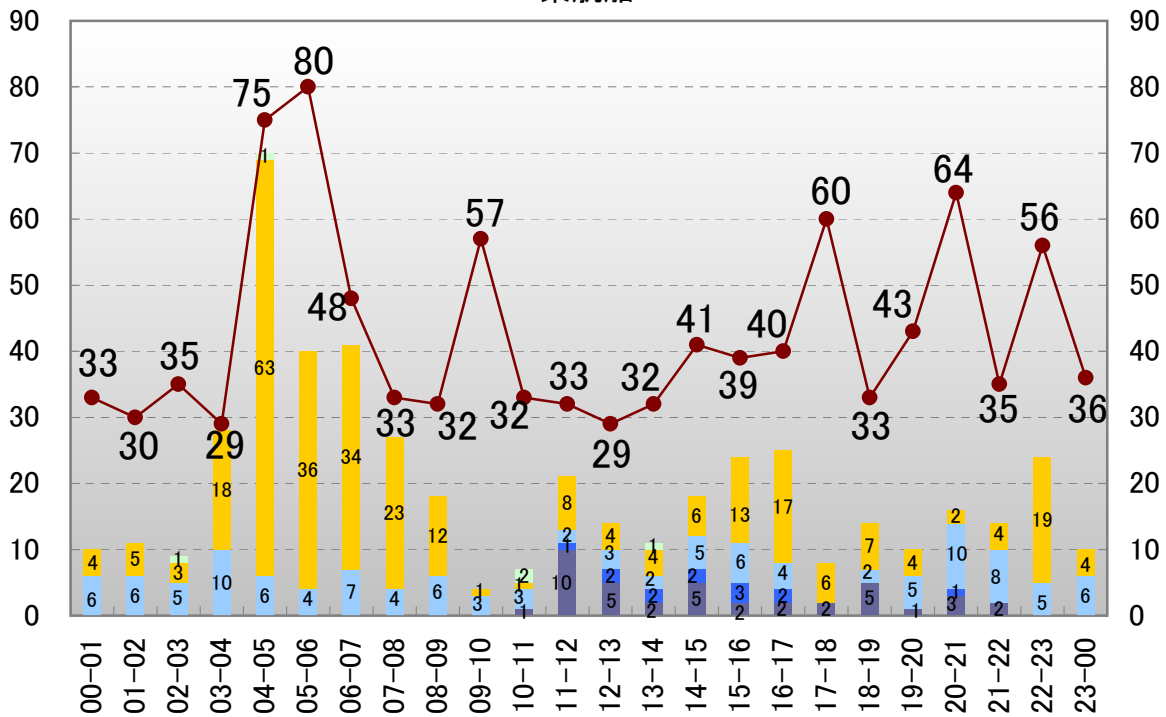


グラフ3－①－1 日別航路通航隻数

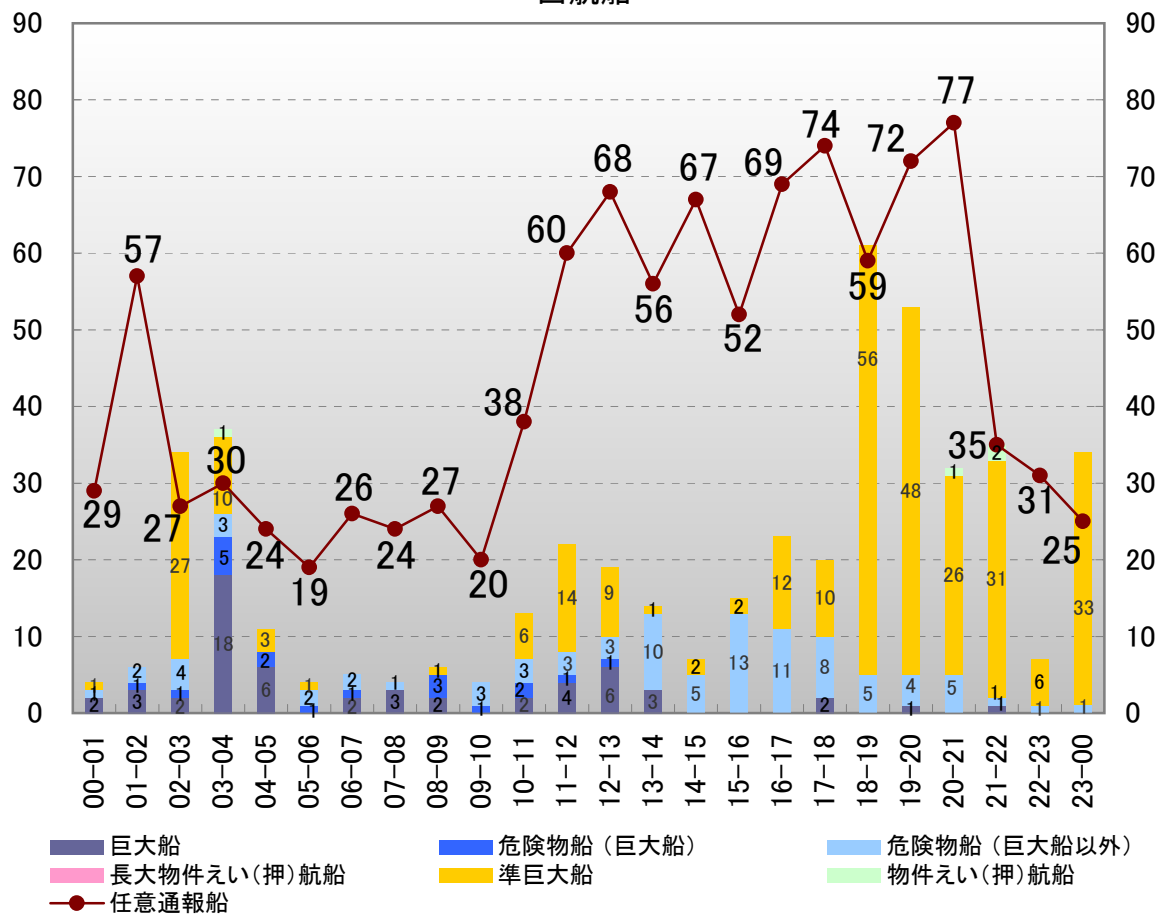


グラフ3-①-2 日別航路通航隻数

東航船

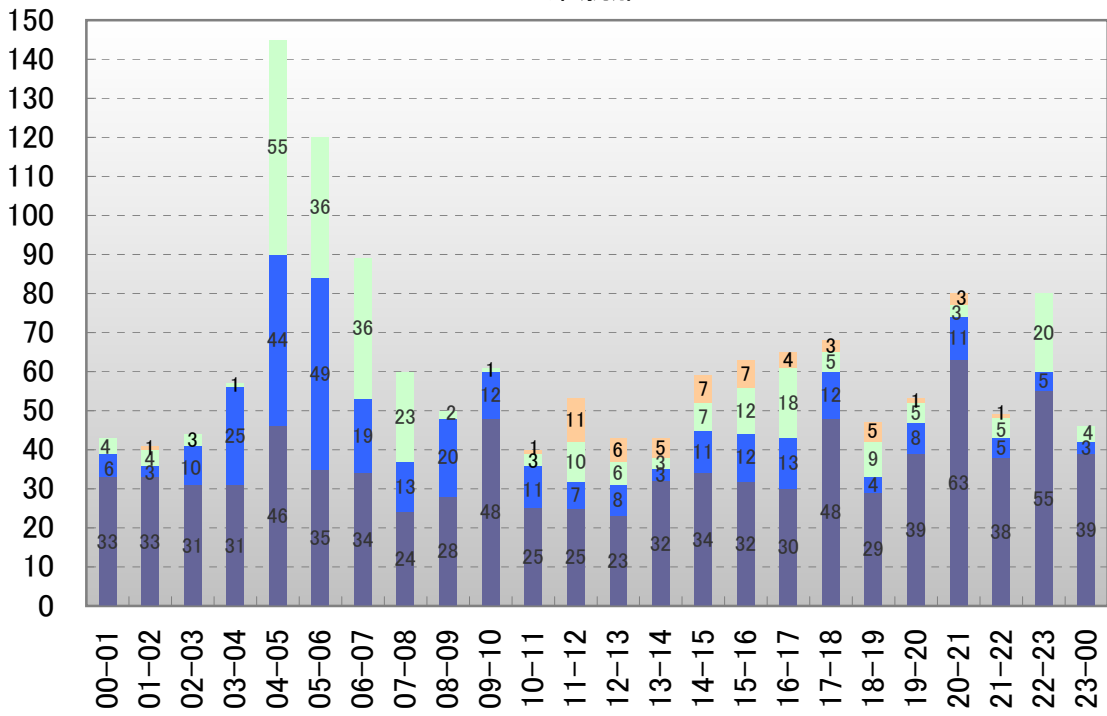


西航船

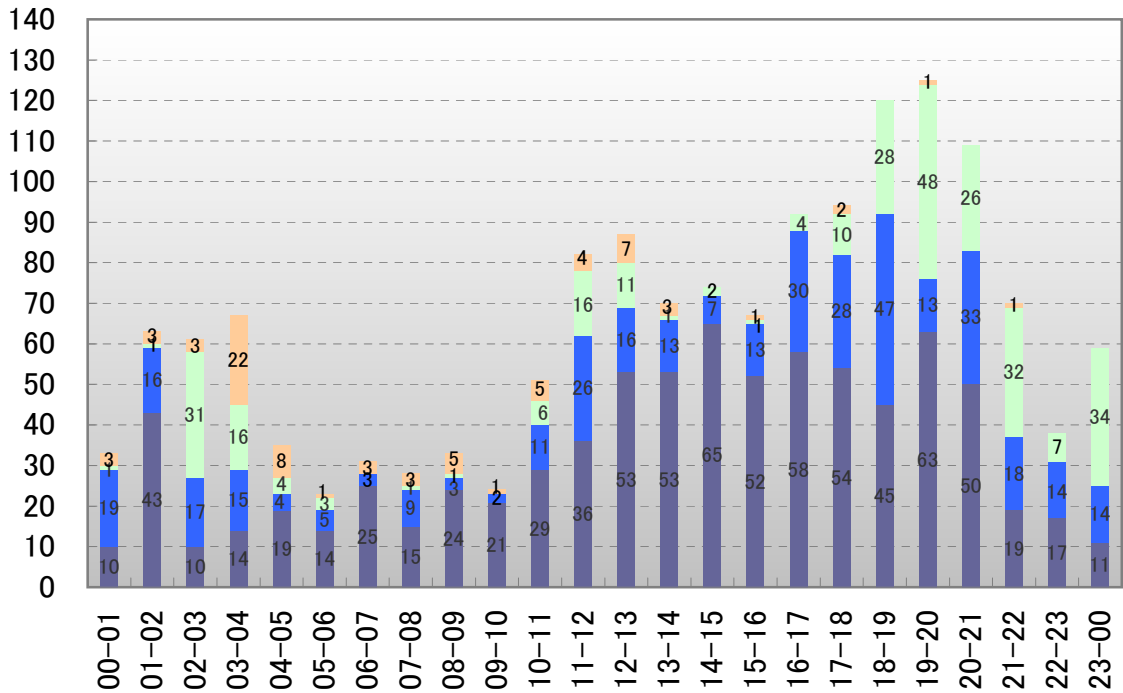


グラフ3-② 時間帯別航路通航隻数

東航船

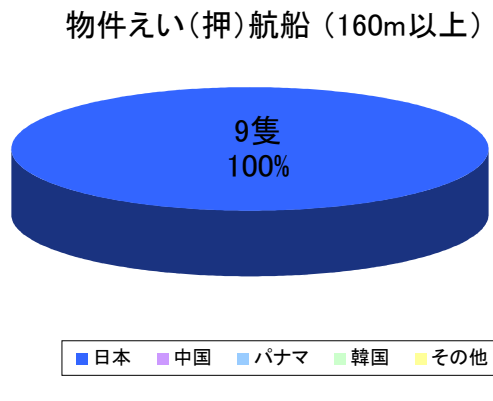
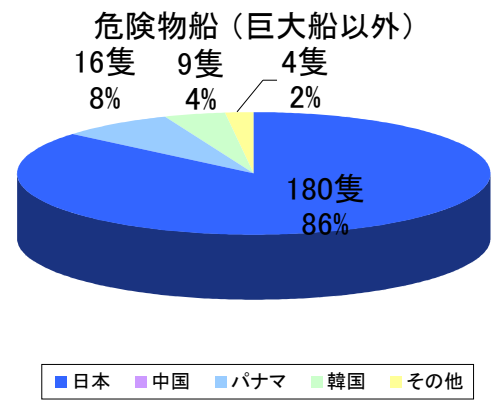
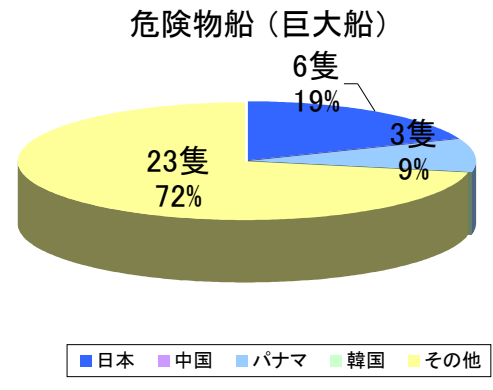
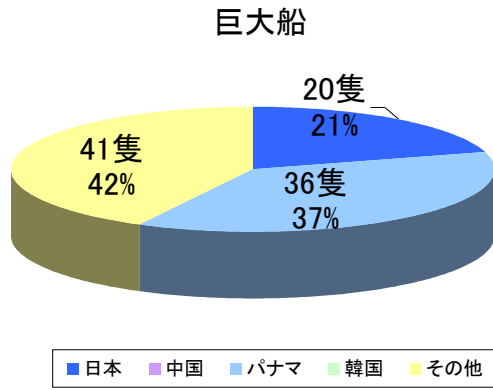


西航船



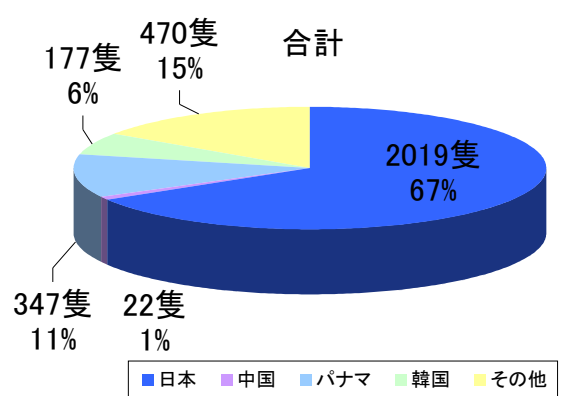
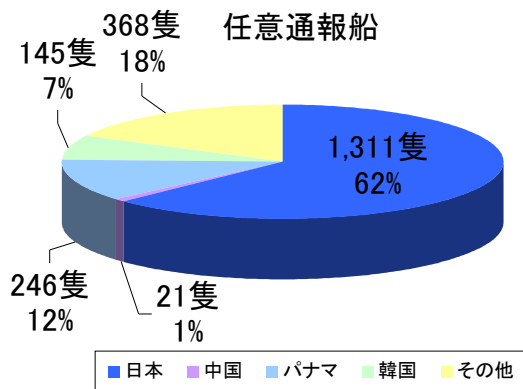
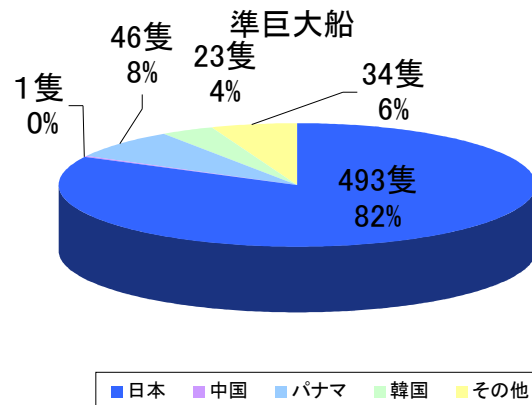
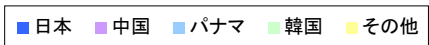
■ 5000t未満 ■ 5000~10000t未満 ■ 10000~40000t未満 ■ 40000t以上

グラフ3-③ トン数別航路通航隻数



長大物件えい航船（200m以上）

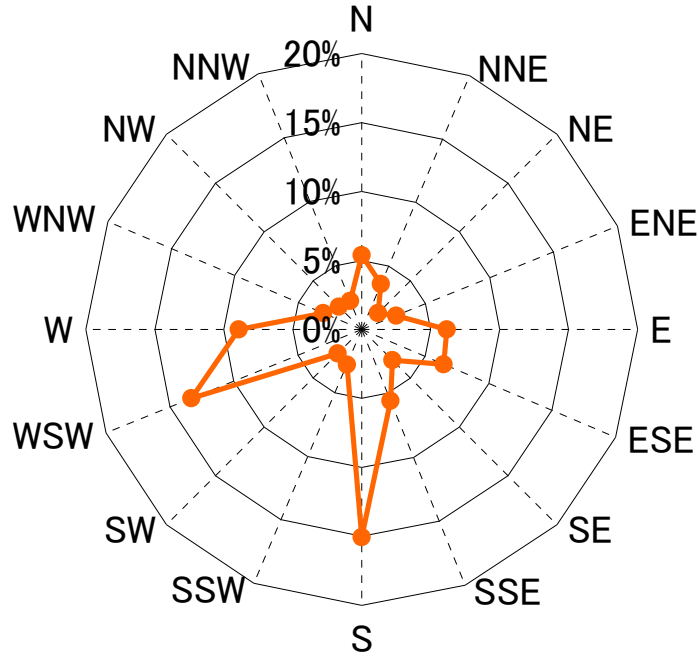
通航実績なし



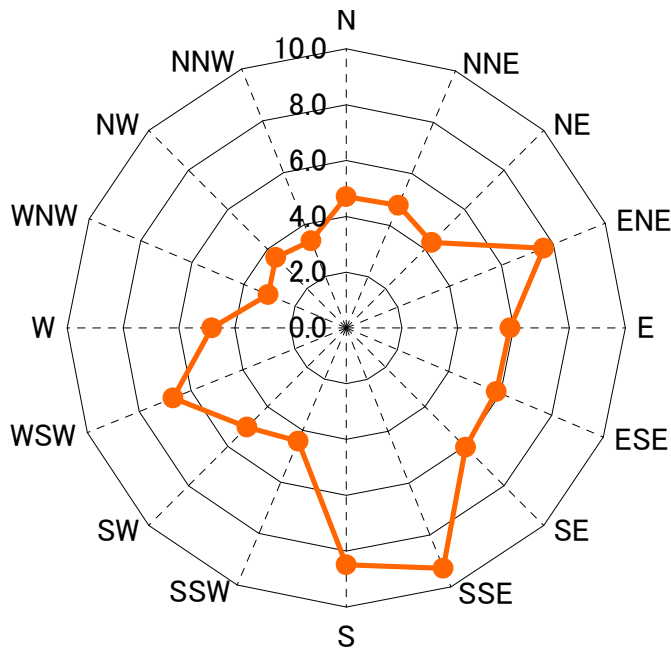
グラフ3-④ 国籍別船種別航路通航隻数

4. 江崎船舶通航信号所における気象状況

江崎船舶通航信号所において15分毎に観測した風向及び風速を集計し、16方位の風向頻度(%)及び平均風速(m/s)として示す。



グラフ4-① 風向別頻度



グラフ4-② 風向別平均風速